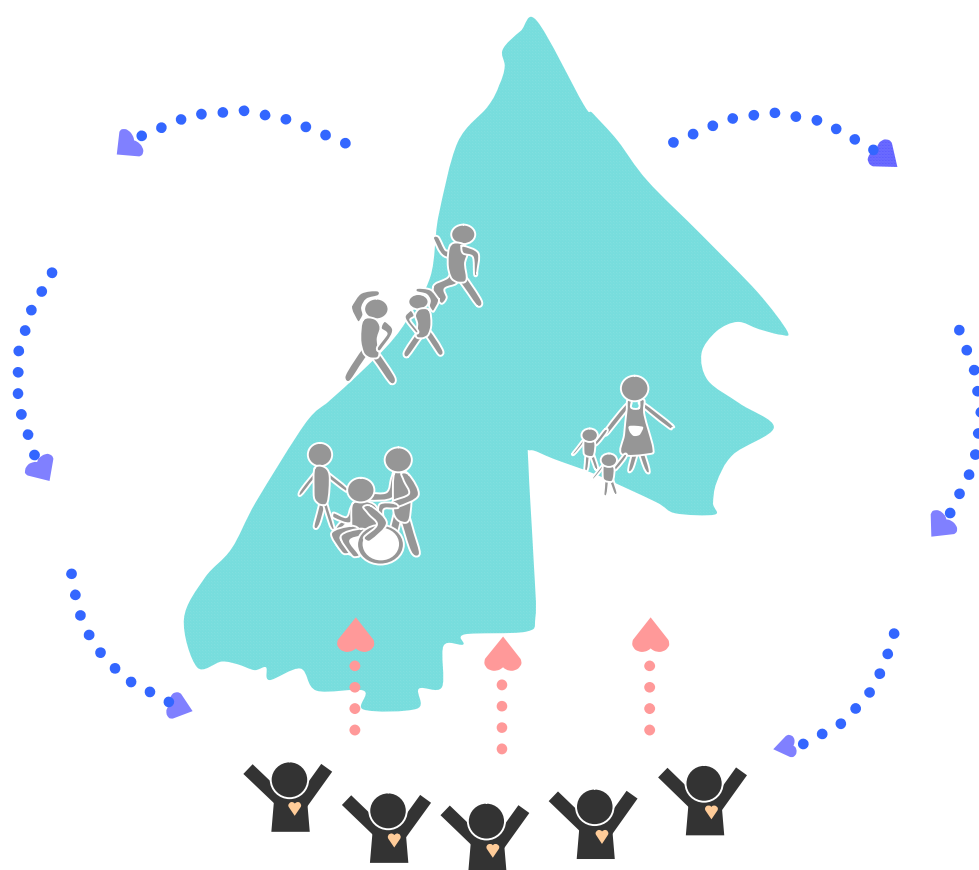


令和7年度すみだの夢応援助成事業
プレゼンテーション
プログラム



令和7年5月31日（土）午前10時00分～
墨田区役所12階 121会議室
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

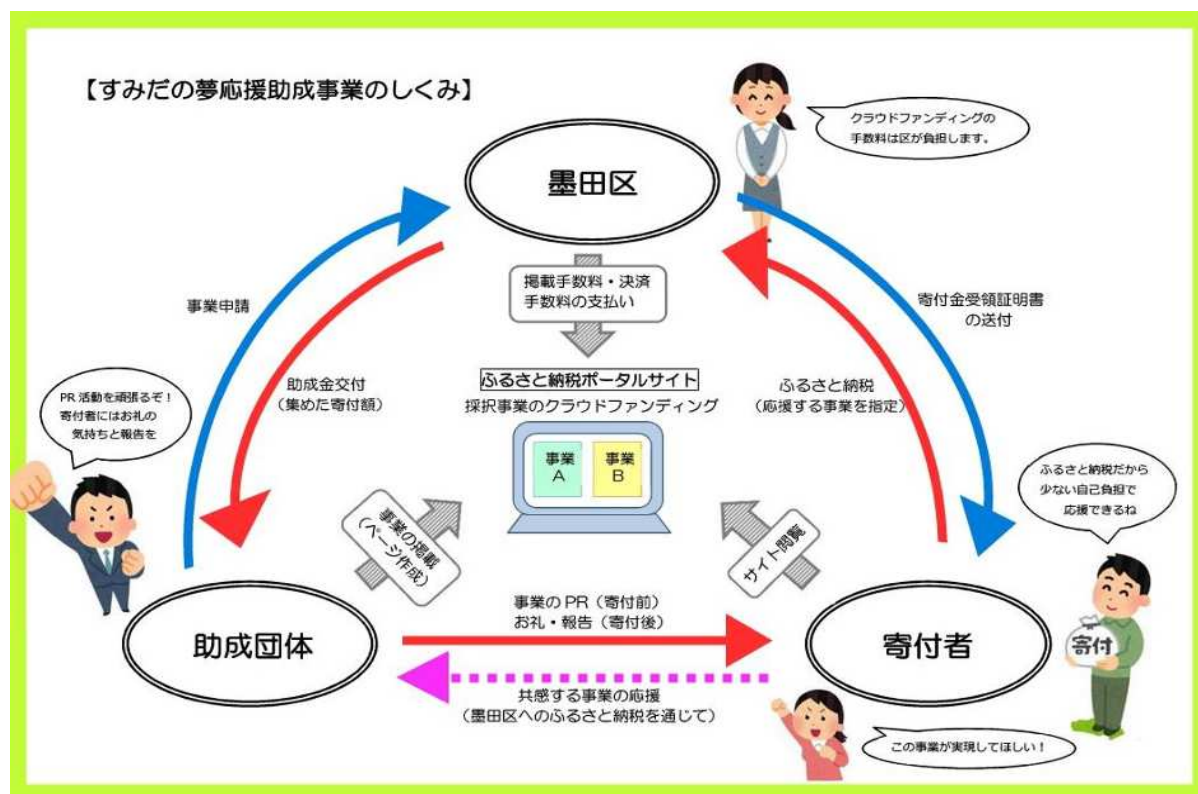
はじめに	2
プログラム	3
プレゼンテーションの方法（ルール）	3
助成の決定	3
審査項目・審査基準	4
本日の審査員	5
令和7年度すみだの夢応援助成事業 申請事業一覧	6

はじめに

すみだの夢応援助成事業は、地域活性化プロジェクトとして、「地域を盛り上げたい」「地域の困りごとを解決したい」「新しいことにチャレンジしたい」といった、区内で実施する「新規性のある意欲的なプロジェクト」に対し助成するものです。

【助成のしくみ】

区は、助成団体に「ふるさと納税を活用したクラウドファンディング」の機会を提供します。
サイト掲載手数料・決済手数料は区が負担するため、助成団体は手数料の負担なしで、集めた寄付金の100%を助成金として受け取ることができます。



※ 助成額はクラウドファンディングの結果により変動します。定額の助成金が保証されるものではありません。

※ 助成が決定した事業は、目標どおりに寄付が集まらなかった場合でも、事業規模を縮小するなどして、必ず実施していただくこととなります。

この制度を通じて、寄付者は共感する事業を個別に指定して応援することができ、事業を実施する団体と寄付者がつながることで、本来の寄付の趣旨を実現することが可能となります。また、区内外から新規性のあるプロジェクトを呼び込むことで、墨田区における新たな人材の交流や地域の活性化をめざすものとします。

プ ロ グ ラ ム

【プレゼンテーションスケジュール】

開始時間	団体名	事業名
10:00	開会（挨拶・プレゼンテーション方法の説明）	
10:05	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」 2025
10:22	一般社団法人 SSK	街中全てをあそび場に！！「移動式あそび場 プロジェクト」
10:40	閉会	

■ プレゼンテーションの方法（ルール）

- （１）１団体の発表は８分以内とします。事業内容を中心に発表してください。
- （２）発表終了後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員による質疑を８分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- （３）他団体のプレゼンテーション中における入退室は自由としますが、自身の１団体前の発表開始時間には入室してください。自身の順番時に不在の団体は、審査対象から除外します。
- （４）傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

■ 助成の決定

プレゼンテーション終了後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会において次頁の審査項目に基づき審査を行い、その審査結果をもとに、区が助成の可否を決定します。

助成の決定は助成総額の範囲内（令和７年度は５０００万円）で行いますが、実際の助成金額はクラウドファンディングの結果によって変動し、寄付総額に対して、交付決定手続きを経た上で、最終的に確定します。

■ 審査項目・審査基準

	審査項目	審査基準
①	新規性・創造性	先進的で独創的な取り組みであるか。SDGs（※）の視点を取り入れ、「持続可能でよりよいすみだの実現」を目指す内容となっているか。
②	発展性・継続性	広く地域社会への波及効果が期待でき、ICT等を活用し将来的に新しい展開につながるなど、発展性・継続性があるか。コミュニティビジネスとして成立する可能性があるか。
③	地域貢献性	地域や社会的ニーズを捉え地域に貢献する取り組みである、社会的意義が認められるなど、事業実施による地域力の向上が期待できるか。
④	実現可能性	事業計画・スケジュール等に具体性があり、事業実施に必要な体制や、多様な連携・協力関係を有しているか。担当者・実行者の存在が明らかであり、迅速な対応がとれる団体であるか。
⑤	経費の妥当性	資金計画が妥当であり、自らの資金確保についても考えられているか。目標額に達しなかった場合の資金計画はあるか。
⑥	クラウドファンディング適合性	多くの方（区内外）の共感を得られる内容の事業であるか。資金調達に向けた広報活動に対する意欲やネットワーク力があるか。返礼品の提案内容が事業の趣旨に沿っているか。

※SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能でよりよい社会の実現」を目指す国際目標のこと

■ 本日の審査員

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員

区 分	氏 名	備 考
学識経験者 (3名以内)	永澤 映	NPO法人コミュニティビジネスサポート センター代表理事
	高橋 幸子	西武文理大学看護学部看護学科教授
	鈴木 弘樹	千葉大学工学研究院 准教授 UDC すみだ副センター長
公募を含む 区民 (5名以内)	森下 香洋子	すみだ環境共創区民会議委員
	横井 貴広	墨田区男女共同参画推進委員 墨田区図書館運営協議会委員
	小澤 裕二	墨田区少年団体連合会会長
	吉永 道子	公募委員
	鷲尾 知也	公募委員
事業者 (2名以内)	南雲 裕司	アサヒプロマネジメント株式会社 総務業務部 本社グループ チームリーダー
	久米 信行	久米繊維工業株式会社取締役相談役

令和7年度すみだの夢応援助成事業 申請事業一覧

※事業の概要は各団体の事業計画書の「事業概要の内容」より抜粋

	【団体名】事業名 / 事業の概要	目標設定額
1	【公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団】 新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」2025	35,000,000 円
	墨田区民に新日本フィルの音楽を聴いてもらう機会を設け、音楽と活気あふれる街を作るとともに、区外から見ても「すみだ＝音楽都市」というイメージアップにつなげる事業を以下のとおり展開する。 1. トリフォニーホールでの主催公演 30 公演(予定)への招待 2. 区民招待コンサートの開催 3. まちかどコンサート 4. まちかどワークショップ 5. まちかど配信 6. アーカイブ化の推進 7. 事業広報	
2	【一般社団法人 SSK】 街中全てをあそび場に！！「移動式あそび場プロジェクト」	3,600,000 円
	子どものあそび場の拡充のため、墨田区内の公園や公共空間にて移動式あそび場を開催する。プレーカー（移動式あそび場からふる号）を活用し、多様な遊具や遊びの素材を展開して、子どもたちが自由に過ごせる遊びの場づくりをする。 あそび場の開催とあわせて、子どもたちへのインタビュー調査を実施し、放課後の過ごし方や遊びに対する意識、課題などを聴き取り、地域の実態を明らかにする調査報告書を作成し、子どもの遊びの課題を把握する。	



【令和7年度すみだの夢応援助成事業 プレゼンテーション】

発行 令和7年5月

墨田区地域力支援部地域活動推進課